

2023年(令和5年)11月24日 金曜日

女性委員の積極登用を

県農業 会 議 気仙沼市に要請書

県内各自治体の農業委員会などで組織する一般社団法人宮城県農業会議などは21日、気仙沼市農業委員会の女性委員の登用促進を求め、要請書を菅原茂市長に提出した。

要請書では、政府が女性の社会参画促進のため、2025年度までに農業委員に占める女性の割合を30%とす

る目標を掲げる一方、県内の全農業委員に占める女性の登用割合は20・3%と、低い現状にあることを指摘。来年7月の市農業委員の任期満了に伴う改選に合わせて、女性委員を積極的に登用するよう求めている。

県農業会議の中村功会長、県内の女性農業委員などをつくる「み

やぎアグリレディス21」の伊藤恵子会長、市農業委員会の横山久一会長、会長職務代理者の三浦悦子さんらが市役所を訪れ、中村会

長が代表して菅原市長に要請書を手渡した。中村会長らは、気仙沼市では農業委員14人のうち、女性委員は2人と登用率が14・3%にとどまっている状況を説明。国が目標とする30%の達成には計5人の女性委員が必要であることに触れ、農業者団体への働き掛けなど、登用促進への協力を訴えた。

菅原市長は、市では審議会などの女性委員の割合が50%となるよう取り組みを進めていることを紹介。農業委員についても「各団体や地域にお願いして多くの女性に手を挙げていただけるよう、機運を醸成していきたい」と理解を示した。

要請書は、市議会や市農業委員会にも提出した。県農業会議では、気仙沼市のほか、県内各自治体に対して同様の要請を行っている。



菅原市長に要請書を提出する関係者